

展覧会

メキシコの知られざる大衆漫画「イストリエタ」民俗文化としての漫画表現



期間 2019年12月7日(土)

～2020年2月25日(火)

会場 京都国際マンガミュージアム 2階
ギャラリー4

主催 京都国際マンガミュージアム
京都精華大学国際マンガ研究センター
国際日本文化研究センター・機関拠点型基
幹研究プロジェクト「大衆文化の通時的・
国際的研究による新しい日本像の創出」
※本展は京都精華大学と国際日本文化研究
センターとの学術交流・協力に関する基本
協定に基づき開催されました。

監修 大塚英志
(国際日本文化研究センター教授)

企画 アルバロ・ダビド・エルナンデス・エルナンデス
(国際日本文化研究センタープロジェクト研究員)

スペイン語邦訳 ゲン・レオナルド・オタ・オタニ

英訳 キャシー・セル

担当研究員 雑賀忠宏

実施概要

メキシコで近代以降に市井の人々の読み物として広がっていった漫画表現である「イストリエタ」。国際日本文化研究センターとの共同主催として企画された本展覧会では、そうした大衆文化、あるいは民衆文化としての「イストリエタ」の歴史と世界とをまとめたかたちで紹介する、おそらく本邦初の展示となった。

本展示では、立派な「歴史(イストリア)」に対して庶民の小さな物語としての意味合いを帯びる「イストリエタ」が織り成した想像力の小宇宙をめぐって、19世紀から20世紀初頭におけるメキシコでの風刺雑誌や新聞上のコミック・ストリップの登場、1930年代～40年代の小さな判型のイストリエタ雑誌群を中心とした大衆文化としての急速な拡大、そしてその後の衰退までの足跡を、メキシコのイストリエタ研究者から提供された原面をはじめ貴重な資料約100点をもとに追った。また、大地を馬で駆ける「チャロ」(メキシコのカウボーイ)たちやヒーローとしての「ルチャ・リブレ」(覆面レスラー)たちなど、イス

Exhibitions 2019

トリエタ作品の主要なキャラクター類型やテーマに光を当てつつ、「ネオ・モネロス」と呼ばれる、グラフィック・ノベルやオルタナティブ・コミックスなどの影響を受けたこんにちのメキシコのコミックス作家についても紹介した。イストリエタの特徴的な技法である「フォト・モンタヘ」（写真素材のコラージュによる作品制作）や「メディオ・トノ」（薄墨を用いた描画技法）などにも焦点を当てた。

なお、国際日本文化研究センターが制作した本展図録を会期中に会場で無償配布した。本図録は今後ウェブでも公開される予定である。

（文責：雑賀忠宏）

本展の構成および出展資料（一部抜粋）

1. メキシコの大衆漫画「イストリエタ」

2. メキシコの大衆向けイストリエタの成立と終焉

Jesús Acosta, Chupamirto, 1928. (原画) [ヘス・アコスタ「チュパミルト」]

Gabriel Vargas, Regino Burrón. 制作年不明 (原画) [ガ

ブリエル・バルガス「レヒノ・ブロン」]

Salvador Pruneda, *Don Catarino*, 1952. (複製原画) [サルバドル・プルネダ「ドン・カタリノ」]

Joaquín Hernández Bassoco, *Wama*, 1940. (原画) [ホアキン・エルナンデス・バソコ「ワマ」]

Ignacio Palencia, *Ingratitud*, 1952. (原画) [イグナシオ・パレンシア「恩知らず」]

3. イストリエタの歩み

La Patria Ilustrada, 1889 [新聞『祖国画報』]

Rafael Lillo, 'Las Aventuras de Adonis' in *El Mundo Ilustrado*, 1908. [新聞『世界画報』よりラファエル・リロ「アドニスの冒険」]

Adolfo Mariño Ruiz, 'El Charro Negro', in *Paquin Chico*, 1937. [漫画雑誌『パキン・チコ』よりアドルフ・マリニョ・ルイス「黒いチャロ」]

Paquin, no.1000, 1940. [漫画雑誌『パキーン』第1000号]

Muñequita, 1950. [漫画雑誌『ムニェキータ』]

Picante, 1954. [漫画雑誌『ピカンテ』]

Rius, *Los Supermachos*, no.80, 1967. [リウス『スーパーマチョス』第80号]





Fausto B. Vázquez (art) & Guillermo Z. Vigil (story), *El Payo: Un Hombre Contra el Mundo*, no.257, 1971. [ファウスト・B・バスケス作画、ギジェルモ・Z・ビヒル原作、『エル・パヨ 世界と戦う男』第257号]

Rafaél C. Navarro & Modesto Vázquez, *Kalimán*, no.416, 1973. [ラファエル・C・ナバロ&モデスト・バスケス『カリマン』第416号]

Gaby (art) & Arturo Lucero (story), 'Tinieblas en las garras de la muerte', in *Sensacional de luchas*, no.144, 1988. [『素晴らしきルチャ』第144号よりガビ作画、アルトゥロ・ルセロ原作「死の手に陥るティニエブラス」]

4. メキシコ・イストリエタにおける七大テーマ

Joaquín Mejía & Oscar González, *Hermelinda Linda*, no.129, 1968. [ホアキン・メヒア&オスカル・ゴンサレス『美しきエルメリンダ』第129号]

Antonio Gutiérrez (drawing) & Yolanda Vargas Dulché (story), *Clasicos de Lágrimas, risas y amor: María Isabel*, vol.1, 1985. [アントニオ・グティエレス作画、ヨランダ・バルガス・ダルチ原作『涙、笑いと愛の名作 マリア・イサベル』第1巻]

José G. Cruz & Delia Larios, *Adelita y las guerrillas*, no.101, 1954. [ホセ・G・クルス&デリア・ラリオス『アデリタとゲリラ』第101号]

Sixto Valencia (drawing) & Yolanda Vargas Dulché (story), 'Angustias y Felicidad', in *Memín Pinguín*, no.55, 1965. [『いたずらメミン』第55号よりシクスト・バレンシア作画、ヨランダ・バルガス・ダルチ原作「苦悩と幸福」]

José G. Cruz, Santo, *el enmascarado de plata*, no.301, 1954. [ホセ・G・クルス、『サント、白銀のマスクマン』第301号] 1号]



Adolfo Mariño Ruiz, *El Charro negro*, no.5, 1952. [アドルフォ・マリニョ・ルイス、『黒いチャロ』第5号]

Rius, 'Aviso: Los Padres de más de cuatro serán castrados', in *Los agachados*, no.179, 1982. [『ロス・アガチャドス』第179号より、リウス「警告 子供4人以上の父親は去勢される」1982年]

5. 「ネオ・モネロス」——更新される現代イストリエタ

José Quintero, *Buba*, 2012. [ホセ・キンテロ『ブバ』]

Luis Fernando Enríquez, *La Blanda Patria y otras historias*, 1988. [ルイス・フェルナンド・エンリーケス『柔らかな祖国 その他の物語』]

El papá del Ahuizote, no.9, 1995. [風刺画雑誌『やっかい者の父親』第9号]

Rafael Barajas (aka El Fisgón), *¡Me lleva el TLC!*, 1993. [ラファエル・バラハス、『NAFTA にやられた!』]

関連記事

・朝日新聞（関西版・夕刊）『いまどきマンガ塾』2020年2月25日（火）掲載

雑賀忠宏「メキシコの知られざる大衆漫画「イストリエタ」 ルチャ・リブレのレスラーら庶民の英雄像描く」

上記と同じ記事が「好書好日」にて掲載

<https://book.asahi.com/article/13179930>